



西川中学校通信

発行日 令和6年11月28日(木) 第9号
ホームページ <http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>
〒959-0422 新潟市西蒲区曾根1828番地3 Tel 0256-88-3148

1年生	63名
2年生	89名
3年生	66名
全校	218名

進路決定と実現に向けて ～ 自分の良さを信じ、納得のいく進路選択を ～

進路指導主事 金子 美由紀

1月の冬休み明けから、私立高校の入学試験が始まります。3年生は、各自の進路決定と実現に向けて行動する時期を迎えています。

今年度は、7月11日(木)に第1回進路説明会を、11月21日(木)に第2回進路説明会を行いました。生徒・保護者とともに、進路の決定と高校入試等に向けての情報を共有しました。第1回進路説明会では「公立高校・私立高校・長岡高専等の入試概要」について、令和6年度(昨年度入試)の要項を用いて説明しました。第2回進路説明会では、出願から受験までの手順を、令和7年度(今年度入試)の要項を用いて説明しました。

令和7年度入試の大きな変更点は、公立高校における「自己申告書」の導入です。欠席が多い理由等を記載した「自己申告書」を、希望する人が受験する高校に提出できるようになります。

Webシステムによる出願については、昨年度から公立高校でも導入されたことにより、ほぼ全ての学校でWebシステムによる出願が実施されることとなります。ただし、私立高校・公立高校・高等専門学校では、それぞれ出願のためのWebシステムが異なるため、一つ一つ手順をよく確認をしながら手続きを進めてほしいと考えています。

これまで、3年生は、上級学校訪問を行ったり、各自が高校の体験入学やオープンスクールに参加したりして、進路決定と高校入試に臨む意識を高めてきました。今後は、各クラスで、面接試験に向けての準備・練習が行われます。入試によっては面接が行われない場合もありますが、面接試験の有無にかかわらず、自分の将来についての考えをより明確にし、自分の良さや興味・関心について、言葉にして話すことができるようになってほしいと思います。

12月には、生徒・保護者・担任での三者面談が行われます。各自の受験計画を確認し、私立1月入試を受ける人は受験校を決定します。今後、私立1月入試を経て、私立2月入試を受けるのかどうかを決定し、さらに3月に行われる公立高校の受験校を決定します。判断をしなければならないことが多くありますが、その都度、本人・保護者でよく話し合い、納得のいく進路選択をしてほしいと思います。

これからの時期は、体調管理と精神面での安定が大切になります。受験は大きな試練ではありますが、自分の良さを信じ、やるべきことを精一杯やって乗り越え、大きく成長してくれることを願っています。



3年生 上級学校訪問 (R6.6.25)



第2回 進路説明会 (R6.11.21)

音楽鑑賞教室

～ 打楽器とピアノの演奏、吹奏楽部との共演もありました ～

11月8日（金）、音楽鑑賞教室を行いました。マリンバ、ビブラフォンなど、様々な楽器による曲目を鑑賞しました。演奏していただいた先生は、これまで西川中学校吹奏楽部の演奏指導にも携わっていただいております。鑑賞教室の最後には、吹奏楽部の生徒とともに「東京ブギウギ」を演奏していただきました。全校生徒の手拍子も加わり、にぎやかで楽しい鑑賞教室になりました。



音楽鑑賞教室で驚いたことは、見たことがない楽器がたくさんあったことです。マリンバやタンバリンは見たことがありましたが、ハーモニーパイプやカホンは、動画や画像で見たことはあったものの、初めて実物を見て、音を聴くことができました。

ピアノの演奏もとても美しく、そこに打楽器が加わってさらに美しい音色になり、とても感動しました。

最後に行った、吹奏楽部とのコラボ演奏では、先生とともに上手く演奏することができ、良かったです。

私は、定期テストの後でみんな疲れている中で、本間先生と吹奏楽部のコラボ演奏のリハーサルを行った時、先生から「元気がないよ。もっと若くなって。」と言われたことが心に残っています。自分たちの調子や気持ちは、音に乗って演奏を聴く人に伝わるものなのだとことを、改めて実感することができました。本番で、若く楽しく演奏でき、全校のみんなが手拍子してくれた時はとてもうれしかったです。今回のコラボ演奏で学んだことを活かし、今後のコンサートやコンクールでの演奏に取り組んでいきたいです。



防災学習 避難所運営ゲーム (HUG)

～ 曾根小・鎧郷小・升湯小の6年生と一緒に活動しました ～

11月19日（火）、NPO法人ふるさと未来創造堂の方のご指導の下、新潟市防災士の会西蒲支部の防災士の皆様からご協力いただき、「避難所運営ゲーム (HUG)」を行いました。

災害時に開設される避難所には、様々な方々が次々に避難してくることが予想されます。避難所の運営について、ゲームを通して体験する中で、いざという時、どのようなことが予想されるか、そして自分たちにできることは何かを考えました。

今年は、曾根小学校、鎧郷小学校、升湯小学校の6年生にも参加していただき、西川中学校の1・2年生とともにグループを作って活動しました。学校や学年を超えて、積極的に意見を出し合う姿が見られました。

